令和６年度　吉城高校　防災実施報告書

テーマ （目指す姿）	自分や大切な人そして地域の方々の命を守るための思考力、判断力、表現力を身につけ、災害時には自ら考え、適切な行動ができる高校生をめざす。
目　標	○減災力テストの平均点の向上 ○地域の防災活動に参加 ○「防災士」資格取得に挑戦
連携した 組織など	▫ＰＴＡ　▫小学校　▫中学校　▫自治会・町内会　☑市役所・町村役場 ☑企業・ＮＰＯ法人等　（　飛騨市防災士会　） ▫その他（　）
主な取組 （誰が、誰と、何をしたかを具体的に）	（１）防災講座（防災リーダー・防災委員対象）１０月２日（水）放課後 講師：飛騨市役所 危機管理課 吉川　慶　氏 11月６日に実施する２学年合同LHR「防災について考えよう」の事前学習として講師を派遣していただき、校内で実施。２年生の防災リーダー５名と防災委員３名の計８名と職員２名が参加。1月の能登半島地震の災害後のリアルな現状を伺い、飛騨市の防災、減災の取り組みや災害時における高校生の役割について学んだ。 （２）「防災タウンウォッチング（飛騨市学園構想推進事業）」飛騨市防災士会 １０月２０日（日）午前 3 年生1名と2年生4名の計5名の生徒 1名の職員が参加。飛騨市立古川中学校周辺を防災という視点で小学生や中学生とともにグループでフィールドワークを実施。AEDの設置場所を確認したり、河川の水位計 や防災カメラによる安全確認の方法、備蓄コンテナの中身やマンホール利用による仮設 トイレの設置予定を実際に目に したりする ことができた。グループでは小学生や中学生たちのまとめ役としての活動も行った。 （３）２年生合同LHR「防災について考えよう」１１月６日（水）６時間目 生徒防災委員会（防災リーダー５名・防災委員４名）が、企画、運営、司会、進行し、体育館で２年生合同の防災について考えるＬＨＲを実施。 ①防災についてパワーポイントによる全体説明 防災士の資格を有する防災リーダー２名が、防災および減災についての説明を行った。 ②災害図上訓練（DIG）の実施 居住地区に２７グループ（１グループ４名程度）に分かれ、ハザードマップを確認しながら、各自の自宅周辺の危険箇所や避難場所までの経路の確認。いくつかの場面を想定し、グループでの意見交換を行った。その後、全体でのグループ発表。 （４）「防災士資格取得」の啓発活動（説明会）１１月２９日（金）昼休み 飛騨市では毎年「防災リーダー養成講座」を３日間実施しているので、生徒に積極的に参加してもらうように防災委員会で呼びかけを行い、最終的には、防災士の資格取得を奨励している。 今年度の目標は、１０名である。

<table>
<tr><td rowspan="2">目標に対する
成果</td><td>減災力テスト</td><td colspan="4">▫ 1年生 ☑２年生 □３年生 □４年生 □実施していない
平均点 | １回目 | 54.1 | ２回目 | 59.6</td></tr>
<tr><td colspan="5">〇減災力テストの平均点の向上
平均点が、５点以上アップした。特に「風水害・土砂災害から命を守る情報収集や判断」の項目の設問においてポイントが高くなった。防災について考える合同ＬＨＲ実施の成果だと思われる。

〇地域の防災活動に参加
「防災タウンウォッチング」に参加し、飛騨市防災士会の方々から生徒の様子に高評価をいただいた。町の危険箇所や防災の備えを実際に自分の目で確認できたことは、防災や減災意識を高めることにつながったと思う。

〇「防災士」資格取得に挑戦
実際にはこれから申し込みが始まり、来春２、３月に受講、受験となるのでまだ成果はわからないが、防災アクションの取り組みを通して「防災士」の資格を取得したい、という声が複数名の生徒からあがってきている。</td></tr>
<tr><td>目標に対する
今後の課題</td><td colspan="5">減災力テストの向上が、１つの客観的評価となるが、「災害から命を守る近所づきあい」という項目は学校内の取り組みだけでは限界がある。生徒の防災意識を高める啓発活動によって自主的な行動を促す努力が必要だと考える。そのために今後もより一層校内の防災リーダーや防災委員の活動の場を広げ、積極的に地域の防災活動に関わる方策を考えていきたい。実際に災害を被った時、地域の方々との協力が一番大切だと思う。協力体制を整えていきたい。</td></tr>
<tr><td>次年度の
取組計画
（本年度の学びをどのように引き継ぐか、または深めるか）</td><td colspan="5">今年度の防災リーダーおよび防災委員の活動を蓄積し、来年度も改善しながら継続していきたい。合同ＬＨＲだけでなく、ポスター掲示等で防災や減災の啓発活動を行えるとよい。地域の防災活動へは今年度同様に積極的に関わっていきたい。また防災士の資格取得については、年度当初から計画的にアピールしていきたい。</td></tr>
</table>